

2020年度（公財）北海道サッカー協会 サッカ-2級審判インストラクター更新講習会① 報告書

研修会名：2020年度（公財）北海道サッカー協会サッカー2級審判インストラクター更新講習会①

日時：2020年8月30日（日）

会場：よつ葉アリーナ十勝会議室、帯広の森球技場、帯広の森市民プール会議室

講師：村山尚哉（HKFA審判委員会指導者部部長、JFAサッカー1級審判インストラクター）

補助：今川一輔（HKFA審判委員会指導者部）

オブザーバー：森 英樹（HKFA審判委員会指導者部、JFAサッカー1級審判インストラクター）

山崎裕彦（北海道審判デベロップメント・オフィサー、JFAサッカーS級審判インストラクター）

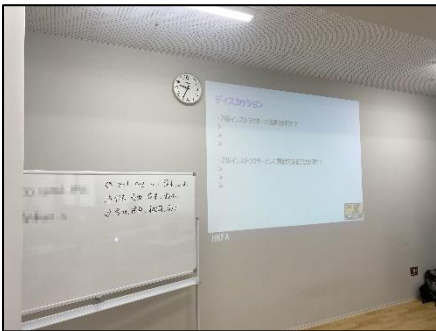
参加者：サッカー2級審判インストラクター13名、

2020年度1回目のサッカー2級審判インストラクター更新講習会を帯広市で開催しました。

有資格者13名が各地区より集まり、活発な意見交換が行われ、充実した研修会となりました。

講義は大きく5つのセッションに分けて行いました。（下記日程表参照）講義①では『2級インストラクターの役割や貢献できること』を大テーマに、『役割』、『貢献できること』、『役割を果たすため、貢献するために必要なもの、学ばなければならないもの』、『今後、どのような活動をしていかなければならないか』、この4つの小テーマを3つのグループに分かれてディスカッションし、まとめ、発表と進めました。この講義では、2級インストラクターとして、今後何を学び、どのような内容で、どのような活動をしていかなければならないか、どのように貢献していくべきかについて、大きなヒントを得られたと確信しています。各地区の審判指導状況、現状についてのお話を聞いたことも大きな収穫でした。講義②では、15分程度の試合映像を見ていただき、その中からレフェリングの良かった点、課題点を切り取ってもらい、共有しました。課題点については、実際にどのような指導を審判員に行えば良いのかを議論、審判員をレベルアップさせるべく、より効果的な指導法について共有しました。講義③からは、帯広の森球技場へ移動、高校選手権十勝地区予選を使わせていただき、試合分析実践を行いました。午前中は大雨でしたが、午後からは雨も上がり、大きな天候の影響もなく、試合分析を行うことができました。試合終了後は帯広市民プール会議室に移動し、講義④の評価点数のすり合わせ、審判員へのフィードバック実践、講義⑤の研修振り返り、まとめを行い全日程終了、研修会を終了しました。更新2回目は、10月札幌市で開催予定です。

開始時間	講義	内容																																																																																		
9:00	集合・開講式			<table border="1"> <caption>2020/8.24現在 ※（）内、55女性数</caption> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>S12</th> <th>S13</th> <th>S2</th> <th>S3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌</td> <td>15 (1)</td> <td>35 (2)</td> <td>123 (8)</td> <td>848 (22)</td> </tr> <tr> <td>釧路</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>23</td> <td>127 (3)</td> </tr> <tr> <td>小樽</td> <td>1</td> <td>14 (1)</td> <td>21 (1)</td> <td>69 (2)</td> </tr> <tr> <td>室蘭</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>23 (4)</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>旭川</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>125 (1)</td> </tr> <tr> <td>網走</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>97 (3)</td> </tr> <tr> <td>十勝</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>51</td> <td>256 (8)</td> </tr> <tr> <td>室蘭</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>38</td> <td>106 (1)</td> </tr> <tr> <td>苫小牧</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>23</td> <td>131 (3)</td> </tr> <tr> <td>オホーツク</td> <td>5 (1)</td> <td>9</td> <td>32 (1)</td> <td>184 (1)</td> </tr> <tr> <td>北空知</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>千歳</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>13 (1)</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>道北</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>道東</td> <td>2</td> <td>5 (1)</td> <td>9</td> <td>35 (2)</td> </tr> <tr> <td>帯広</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	S12	S13	S2	S3	札幌	15 (1)	35 (2)	123 (8)	848 (22)	釧路	3	5	23	127 (3)	小樽	1	14 (1)	21 (1)	69 (2)	室蘭	6	11	23 (4)	82	旭川	5	3	24	125 (1)	網走	2	3	16	97 (3)	十勝	4	15	51	256 (8)	室蘭	4	8	38	106 (1)	苫小牧	2	7	23	131 (3)	オホーツク	5 (1)	9	32 (1)	184 (1)	北空知	2	5	11	50	千歳	2	3	13 (1)	85	道北	3	3	9	21	道東	2	5 (1)	9	35 (2)	帯広	1	3	6	17
地区名	S12	S13			S2	S3																																																																														
札幌	15 (1)	35 (2)	123 (8)	848 (22)																																																																																
釧路	3	5	23	127 (3)																																																																																
小樽	1	14 (1)	21 (1)	69 (2)																																																																																
室蘭	6	11	23 (4)	82																																																																																
旭川	5	3	24	125 (1)																																																																																
網走	2	3	16	97 (3)																																																																																
十勝	4	15	51	256 (8)																																																																																
室蘭	4	8	38	106 (1)																																																																																
苫小牧	2	7	23	131 (3)																																																																																
オホーツク	5 (1)	9	32 (1)	184 (1)																																																																																
北空知	2	5	11	50																																																																																
千歳	2	3	13 (1)	85																																																																																
道北	3	3	9	21																																																																																
道東	2	5 (1)	9	35 (2)																																																																																
帯広	1	3	6	17																																																																																
9:15	講義① ディスカッション	2級インストラクターの役割や貢献できること																																																																																		
10:45	講義② 映像分析	良い点、課題点の抽出、指導方法について																																																																																		
12:00	移動・昼食・休憩																																																																																			
13:00	講義③ 試合分析	試合分析実践																																																																																		
15:30	講義④ 指導実践	評価、点数のすり合わせ、審判員へのフィードバック																																																																																		
16:00	講義⑤ 全体振り返り・まとめ																																																																																			
16:30	解散																																																																																			



【参加者コメント】

・鈴木堅之 氏（札幌地区）

各地区のインストラクターの所属数の違いがあるが、今後我々が向かっていく方向性は同じように思った。審判員の育成という課題では、単に審判員のパフォーマンスを向上させるだけでなく、我々インストラクターも指導力を向上していくことが不可欠であり、審判員と共に成長していかなければならないが、「審判員になりたい」、「審判をしたい」、というユース審判員をはじめ裾野を広げる事も重要な課題であると感じた。また、インストラクターの交流・情報共有の場も必要だと感じる事ができた。各地区（他地区）のインストラクターの方々とお会いする場は、殆どが更新講習の時だけで、交流や情報共有の時間がなかなか取れず指導実践の場となっていたが、今回のような研修の場が多くもたれることも大切な時間だと感じる事ができた。是非今後も、今回のような情報共有、交流の場をもっていただければ幸いです。

・三上泰三 氏（宗谷地区）

今回サッカー 2 級インストラクター更新講習会参加させて頂き、コロナウイルス感染拡大の中、久しぶりに全道各地区のインストラクターの皆様と直接お会いして交流・意見交換をさせて頂きました。また、講習では各地区のインストラクターの現状や問題点、インストラクターの役割や貢献・必要なものなど、実技指導では審判員への適切な指導法など、今回の講習会に参加できてとても良かったと思います。この経験を今後の活動に活かして行きたいと思います。

・茂木直矢 氏（根室地区）

グループ討議がとても良かった。普段接することのない他地区インストラクターと意見交換をおこなったり集約する作業とても良いコミュニケーションが図られ、良い刺激も受けました。今後の活動に活かしていくとともに、地区審判インストラクターへしっかりフィードバックしていきたいです。自分の役割は何なのか、技術を伝えるだけではなく、悩みを聞いてあげるなど心のケアマネージメントも必要なのだと思います。審判員の質をあげることは、選手レベルの向上にも繋がり地域全体に影響を与える大切な役割なのだと感じました。審判員が課題点を自ら気付くことができるよう誘導し、解決したうえで次節に向けて心地よくスタートが切れるよう意識する。また、SI1 の振り返りを生で見れたことは、とても良い経験になりました。